

自立活動だより

大府特別支援学校

2017.7.20 No.1

大府特別支援学校では、「自立に向けて、健康状態の維持・改善を図り、自分のよさに気づき、自己の持っている力や可能性を引き出しながら、主体的に行動できる力の育成をめざす。」という目標のもとに、自立活動の時間だけでなく、学校生活全般においてさまざまな活動をしています。

今年度も、児童生徒が取り組んでいる様子を、『自立活動だより』で紹介していきます。校内での取組に加え、施設内教育や訪問教育での様子も随時お知らせしていきます。

小学部

低学年は「玉入れ名人にチャレンジ!」と「サーキット運動」を実施しました。「玉入れ名人にチャレンジ!」では、いろいろなカゴを狙って、挑戦しました。

入れた玉の数だけスタンプを押してもらいましたが、どの子もいっぱいになったスタンプ票を見て満足そうでした。「サーキット運動」では、一本橋、ジグザグコーン、フリスビー、ゴム跳び・ゴムくぐり、玉入れ、けん玉の各コーナーを回って活動しました。それぞれの体力や力量に応じて参加して、たくましい姿を見せていました。

高学年は6、7月の活動では「サーキット運動」と「立体折り紙」を実施しました。「サーキット運動」では、平均台、なわとび、ラダー、ボール突きにチャレンジしました。「なわとび 前跳び〇回挑戦します!」と目標を発表して一つ一つの課題に取り組みました。暑い中での活動でしたが、目標に向けて努力し、一人一人が達成感を得ることができました。

「立体折り紙」グループでは、折り紙のパーツを組み合わせて、いろいろな形のくす玉を作る活動に取り組みました。くす玉を完成させるために、折り紙のパーツを丁寧に折ること、パーツの方向を考えながら差し込んでいくことなど、根気が必要となる作業が多くありました。自分のペースで、途中で休憩をしながら根気強く活動を続け、くす玉が完成したときには達成感に満ちたうれしそうな表情が見られました。いろいろな色や柄の折り紙を使用し、一人一人個性豊かなくす玉が完成しました。



中学部

中学部の自立活動は、生徒一人一人が自分自身について振り返り、自分の目標を見つけることから始めています。そして目標に向かって自分の可能性を引き出していくためには、どのような力が必要か、どのようなことを身につけていく必要があるか考え、活動内容を決定しています。今回は、1学期の活動内容の一部をご紹介します。

指先の巧緻性を高めるために、ペーパークラフトで大阪城の制作を行う生徒やパソコンでタイピング練習に取り組む生徒がいました。また、集中力を高めるためにギターやウクレレの演奏に取り組む生徒がいました。その他にも、体力の向上、コミュニケーション能力の向上を目標に運動やスポーツに取り組む生徒や自己の感性を磨くために美術的活動に取り組む生徒がいました。一人一人が目標を明確にして、活動に取り組むことができました。

その他、6月8日（木）に行われたGWT（グループワークトレーニング）では、多数決ではない話し合いによって、合理的に物事を決定していくトレーニングを行いました。「新桃太郎伝説」というお題に対して、それぞれの考えを発表し、その後グループの考えを1つにまとめる活動を行いました。初めはぎこちない様子でしたが、友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりと有意義な学びの時間とすることができました。



高等部

高等部の自立活動は、クラスごとに将来の生活を考えた個別の活動に取り組んでいます。今回は、その一部を紹介します。

1年生の生徒は、いろいろな先生に「子どもの頃にあこがれた職業は何ですか」などをインタビューすることを通じて、コミュニケーション力や、仕事についての意識を高める活動に取り組みました。また、タブレット端末を用いてさまざまな職業について調べました。



3年生の生徒は、奉仕活動として雑巾づくりを行っています。集中力や、巧緻性など、今の自分が苦手とする力を身に付け、そのことが誰かの役に立つことを喜びと感じようとするねらいです。

針と糸を使った細かい動作ですが、徐々にスピードが上がり、楽しくなってきた生徒も見られました。6月1日には、「食生活について考えよう—体からのおたよりは健康のバロメーター—」と題して、栄養教諭の天木先生が食べ物を食べると必ず出るうんちのお話をしてくれました。

生徒のほとんどは、始めは「きたない」と笑っていましたが、不規則な食生活によって、生活習慣病になることを知った後には、真剣に話を聞くことができました。お通じがよくなる条件として、食物繊維を摂ることや、生活習慣を整えることなど、すぐに実行できそうなことが紹介されました。最後に、グループに分かれて自分たちができる目標を考えました。あるグループでは、毎日適度な運動を心がけることを目標にしました。また、別のグループでは、睡眠不足によってお通じが悪くなるため、夜遅くまでゲームやスマホをしないようにするなど、より具体的に考えることができました。自分で体調を整えることも大切な力です。今の自分に必要な力は何なのかをじっくり考えるよい機会となりました。



施設内教育 藤田保健衛生大学病院

小学部は、「好きなことを見つけて楽しむ」を目標にしています。身体を動かして楽しむグループは、ドッチビーを使ってペットボトルの的を当てたり、ボウリングをしたりしています。ドッチビーを投げるときに、相手のことを考えて投げるができるようになってきました。じっくりと物作りを楽しむグループでは、消しゴムはんこに挑戦することになっています。最初は、四角、星、丸の線や面の掘り、カッターを入れる角度や角や曲線の練習をしました。今は、ペンギンのキャラクターに挑戦中です。自分でデザインしたコメントも書き込み、出来上がりが楽しみになっています。



中学部は、好きなことや得意なことに取り組む、新しいことに挑戦するなど、一人一人が自分の目標を決めました。「消しゴムはんこ」「ポンポン手芸」「物づくり」「身体を動かそう」「リラックスしよう」に分かれて課題に取り組んでいます。消しゴムはんこやポンポン手芸は、今までも経験のあることでしたが、今回はもっと丁寧に作ったり、自分でアイデアを考え工夫したりしています。物づくりは、ウォールポケットを作っていますが、寸法を測るといった丁寧な作業が必要です。そのため出来上がった時は、「早く部屋に飾りたい」と喜びいっぱいでした。今は二つ目の製作中ですが、アレンジを加えて、楽しく取り組んでいます。卓球では、友達と関わりを深めながら、身体を動かし、気持ちよさそうな表情になります。「リラックスしよう」では、身体にいっぱい触れて、自分の身体を意識できるようにしています。触られるのが苦手な力が入ることもありますが、徐々に慣れて、身体をゆったりさせることができます。みんな主体的に取り組んでおり、次の自立活動の時間を楽しみにしています。